

選択型(部署別・階層別・目的別)

# ハラスメント防止研修

## 企画提案書

FPM- $\alpha$   
吉海江 久実代



無断転載禁止

# 選択型（部署別・階層別・目的別）ハラスメント防止研修 企画ポイント！

部署別（職種別）： 行政部局 ・ 消防本部 ・ 医療福祉 ・ 教育委員会 ・ 議会事務局  
階層別： 全職員 ・ 一般職 ・ 管理監督職 ・ 相談員 ・ プロジェクトチーム 等

【研修内容】この4月、日本を代表する有数の神社様からハラスメント防止研修の依頼を受けました。「どのような組織にも、ハラスメント問題は顕在化の一途となっている」と感じました。弊社は、公務職場への支援に特化した活動を続けさせていただいています。そのような背景を受け、公務職場においても、複雑化多様化する職場のハラスメント問題に対して、いままでの横断的な研修スタイルを残しながらも、よりきめ細かくハラスメント防止策を、自律的にリクエストしていただけるように、本研修企画を組み立てました。

【研修カリキュラム】※下記は、スタンダードなカリキュラムです。研修時間は、ご相談の上、決定します。

1. ハラスメントに対する基礎知識と法律的解釈 “モラルからコンプライアンスの領域へ”
  - ①職場におけるハラスメント実態調査からの観察 “調査結果から見える現況と傾向”
  - ②職員のハラスメントに対する意識と各自治体の取り組み実例 “好事例を中心に”
  - ③グレーゾーンにもメスを入れる “自律自発のチームビルディング型ハラスメント対策”
2. 基本的なハラスメント防止策の実例とその応用【部署別階層別目的別に選択していただきます】
  - ①組織対応でのハラスメント防止策 “心理的安全性のある職場づくり”
  - ②個人としてのハラスメント防止策 “業務管理とコミュニケーション管理”
3. 職場実践のアプローチ “職場で活用できるフレームワークシート”
  - ①HOWのシートによるステップアップPDCA計画書 “タスクアプローチ&ヒューマンアプローチ”
  - ②私の心構え7ルールの設定 “心理的安全性推進の当事者として1on1のコミットメント”

## 【期待される効果】

選択型であるため、より受講者の方々に対して身近な事としてとらえていただき、当事者としての気づきから始まるハラスメント防止に対する“マインドとスキル”を醸成します。また、業務管理とチーム内でのリーダーシップ・フォロワーシップも省み、職場の心理的安全性推進の実践者として、日々の勤務姿勢と行動のより良き習慣性を高めていただけます。

【紹介し解説するコンテンツ】「アサーティブコミュニケーション」「ハーズバークの二要因理論」「リテラシーの原則」「レジリエンスフロー」「PM理論」「ダイバシティ&インクルージョン」「アンコンシャスバイアス」「心理的安全性」「レビンの人の行動と環境」「怒りのコントロール」等です。選択型部署別階層別目的別研修の効果を存分に発揮した受講者の方々の業務の生産性に寄与するプログラムです。

# 選択型（部署別・階層別・目的別）ハラスメント防止研修 PRポイント！

## 行政職

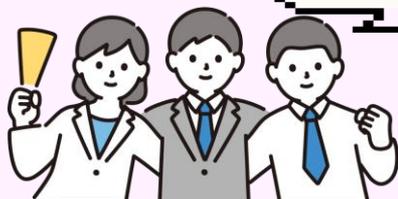
**管理職**  
指導とパワハラ境界線  
**監督職**  
パワハラ上司を変えることができるのか  
**一般職**  
カスタマーハラスメントの対処法

## 議会事務局

無自覚な本人にハラスメントを  
意識してもらうには

## 消防職

訓練の際のパワハラと  
署での業務の際の  
パワハラの違い



## 各組職

ハラスメント相談員

相談の流れと  
NGワード

## 教育・保育職

親御さんからの  
ハラスメントの対処法

## 医療・福祉職

患者様からのセクハラ対処法  
パワハラにはならない叱り方

## 目的別研修

- ・ 予防のために
- ・ 自覚を持つために
- ・ ハラスメント発生時

## 階層別対象研修

- ・ 管理職
- ・ 監督職
- ・ 一般職
- ・ 相談員

## 職種別対象研修

- ・ 行政部局
- ・ 消防本部
- ・ 議会事務局
- ・ 医療福祉
- ・ 教育委員会

## 強化WEEK！

### 研修プログラム&スケジュール（例）

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前 行政 管理職	午前 ハラスメント 相談員	午前 教育委員会	午前 議会事務局	午前 消防
午後 行政 一般職	午後 行政 会計年度任用職員 再任用職員	午後 学校 幼稚園 保育園	午後 病院 福祉	午後 関係機関